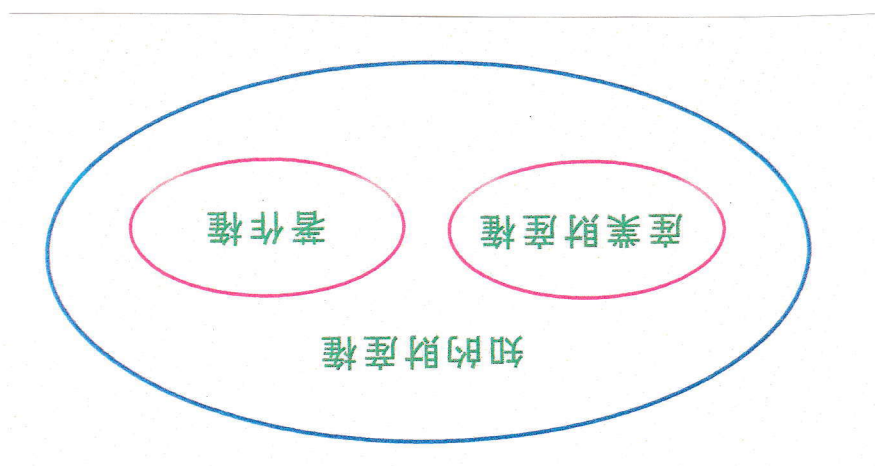


4. その他

- 4.1 特許になるかどうかの判断
- 4.2 特許の種類
- 4.3 実施権
- 4.4 出願人と発明者
- 4.5 個人出願と法人出願
- 4.6 減免制度
- 4.7 特許と実用新案
- 4.8 中間手続き
- 4.9 書面出願と電子出願

1. 産業財産権とは

産業財産権は知的財産権の一部です。
この知的財産権の柱の一つが産業財産権であり、他の柱の一つが著作権です。
この二つの柱にその他を加えたものが知的財産権です。



産業財産権は、発明等を財産として保護する制度です。
ずっと昔はこのような制度がありませんでした。従って、新しく役に立つものを生み出して、すぐに盗まれてしまうのでそれを秘密にしなければなりません。
これでは産業が発展しないので、特許制度等が作られて、発明者が一定期間独占できるようにまりました。
この特許制度を含む産業財産権は、日本だけでなく世界各国に同様の制度があります。つまり国際性を持つ制度だといえるでしょう。知恵やアイデアは具体的な形がないので、その所在がわかりにくいので法律で保護することが必要なのです。